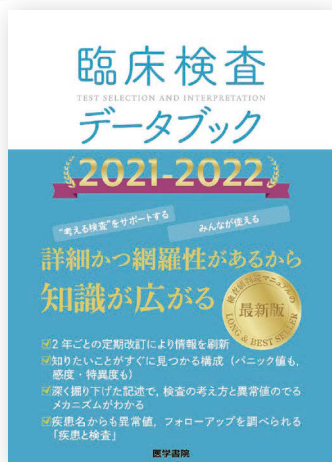




#今月の特集関連本



臨床検査データブック 2021~2022

高久史磨＝監修

黒川 清、春日雅人、北村 聖＝編集

大西宏明＝編集協力

定価 5,280 円／B6 判・1136 頁／医学書院／2021

「考える検査」をサポートする検査値判読マニュアル、2年ごとの改訂版。読みやすく使いやすいと評判のきめ細やかな構成。「パニック値」「異常値のメカニズムと臨床的意義」「見逃してはならない異常値」「薬剤の影響」「患者指導」など、知りたいことがすぐ引ける。特定背景のある患者に特徴的な検査値も追加。疾患名ごとに診断・経過観察に必要な検査、疾患特異的な異常値をまとめた「疾患と検査編」も拡充。全医療者必携。



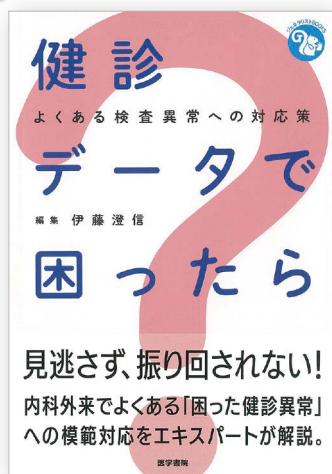
検査値を読むトレーニング

ルーチン検査でここまでわかる

本田孝行＝著

定価 4,950 円／B5 判・352 頁／医学書院／2019

検査値の推移と組み合わせから、「病態を読み解く力」を身につける本。「RCPC (reversed clinico-pathological conference)」の手法では、病歴や身体所見の情報なしで、検査所見のみから病態を推論する。本書は、これに時間軸と複数検査値の組み合わせを加え、患者の病態を 13 の基本項目に分け、全 39 症例の検査値の推移から病態の変化を読み解いていく。「患者の身体に何が起きているのか？」を推論する力を磨きたいすべての医師・臨床検査技師に。



「ジェネラリスト BOOKS」 健診データで困ったら

よくある検査異常への対応策

伊藤澄信＝編

定価 3,960 円／A5 判・192 頁／医学書院／2017

健診での検査項目はますます多様化しており、異常値の出た健診結果を持ってくる患者への対応にとまどう一般医は少なくない。とりわけ、無症状で検査値(あるいは所見)に軽度の異常がみられた場合、どの程度の間隔で再検するのは迷うところだ。本書では、外来で一般医が困る健診データ異常のパターンを集め、基本対応とそのエビデンスを示した。内科外来に欠かせない 1 冊！

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート (p.1195) に
ご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。



内科医に役立つ！ 誰も教えてくれなかった 尿検査のアドバンス活用術

上田 剛士



テクニックいらずで、
実はとってもハイクオリティな尿検査を、
もっと使いこなそう！

雑誌『総合診療』の好評連載「I LOVE Urinalysis—
シンプルだけどディープな尿検査の世界」が書籍になりました！

医学書院

内科医に役立つ！ 誰も教えてくれなかった 尿検査のアドバンス活用術

上田剛士＝著

定価 3,850 円／B5 判・176 頁／医学書院／2019

尿検査は簡便・迅速・安価で、一見“ローテク”だが、使い方によっては実にハイパフォーマンスな検査だった！ 「臨床で活躍する若手医師、医療資源の乏しい環境で頑張られている医師、あるいはせっかちで検査結果を待ち切れない医師のお役に立てたなら、筆者としては望外の喜びです」(序文より)。本誌連載「I LOVE Urinalysis シンプルだけどディープな尿検査の世界」から生まれた、一般内科医にこそ役立つ 1 冊。

誰も教えてくれなかった

血算の 読み方・考え方

岡田 定

- 血算のどこに注目すればよいの？
- 疾患に特異的な項目は一体どれ？

血液内科医のみならず、
すべての研修医、臨床医に役立つ
「血算はこう読む！」

医学書院

誰も教えてくれなかった 血算の読み方・考え方

岡田 定＝著

定価 4,400 円／B5 判・200 頁／医学書院／2011

最低限の病歴と血算から、可能性の高い疾患を「一発診断する」力を身につけるための本。血算は、すべての臨床検査のなかで最も基本的で頻用される検査。臨床現場では簡単な病歴と血算を中心とした情報だけで、診断を推定しなければならない場面は多く、実際かなりの疾患を推定できる。誰も教えてくれなかった血算の読み方・考え方が学べる本書は、研修医・若手血液内科医はもちろん、すべての臨床医・検査技師にも役立つはず。

救急外来、 ここだけの話

坂本 壮
田中 竜馬

エキスパートは
どのように考えて
診療しているのか？

救急外来 (ER) の分野で議論のあるトピックを取り上げ、
関連のエビデンスを多数紹介しながら丁寧に解説。

医学書院

救急外来、ここだけの話

坂本 壮、田中 竜馬＝編

定価 5,720 円／B5 判・480 頁／医学書院／2021

本特集 I - ④「急性冠症候群の診断×CK-MB、H-FABP」(p.1092) をご執筆の坂本壮先生編集の本。

救急外来 (ER) の分野で議論のあるトピックを取り上げ、「第一線の医師はどのように考えて診療しているのか (ぶっちゃけ、どうしているのか)」を解説。関連するエビデンスを豊富に紹介しながら丁寧に論を進めていくスタイルで、救急医療が専門ではない若手医師も本書を読めば“controversial”な状況に強くなる！ 大好評の『集中治療、ここだけの話』(2018) に続く、シリーズ第 2 作。



レジデントのための画像診断の鉄則

山下康行＝著

定価 4,180 円／B5 判・226 頁／医学書院／2019

「CT、MRI、超音波…モダリティの使い分けはどうする?」「押さえておくべき胸部 CT のサインは?」といった画像診断のギモンに一挙に答えた! 著者がこれまで研修医や医学生との読影カンファレンスで語ってきた画像診断のコツやピットフォールを、最低限押さえておくべき“鉄則”としてまとめて披露。同著者の『医学生・研修医のための画像診断リファレンス』(2018)と併せて読みたい。



国循・天理よろづ印

心エコー読影ドリル [Web 動画付]

泉 知里＝編

定価 4,950 円／B5 判・192 頁／医学書院／2021

こんな問題集が欲しかった! 心エコー読影力が必ずアップする 50 症例、動画 185 本つき! 『循環器ジャーナル』の人気連載に大幅に加筆し、心不全や弁膜症、先天性心疾患から、虚血性心疾患、心筋疾患まで、心エコー読影力さらにはその先を問う症例を厳選した。解き終えたあとは、不正解の問題を解き直すもよし、付録の「逆引き疾患目次」「Learning Point まとめ」で各疾患の理解を深めるもよし。ボロボロになるまで使い倒すべし!



がんゲノム医療遺伝子パネル検査実践ガイド

角南久仁子、畑中 豊、小山 隆文＝編著

定価 4,620 円／B5 判・252 頁／医学書院／2020

がんゲノム医療を牽引してきたフロントランナーたちによる決定版。関連用語を網羅したキーワード集、がんゲノム医療の成り立ち、基本知識とその解説、「治療の探し方」「調査結果の読み方」「各種検査のスペック」「二次的所見とは?」などなど、初めての医療者が必要とする情報を整理。がんゲノム医療に必要な実践知を余すところなく網羅! 検査技術も日進月歩。がん遺伝子パネル検査はこの本から始めよう。